

小樽市の研究活動

研修部長 小樽市立最上小学校

校長 若 林 晋

1. はじめに

小樽市小学校長会は、社会の変化をとらえ、子ども達に社会を生き抜くために必要な資質・能力・態度を育成し、市民の信頼に応える学校づくりを目指し、各学校において学校経営を進めている。

本年度からは、小樽市学校教育推進計画「23の指針」に基づき、各学校で数値目標を定め、小樽市民の負託と家庭や地域の信頼に応えることのできる小学校教育の推進のため研究・研修活動に取り組んでいる。



2. 研究計画

(1) 研究課題

「新しい時代を拓き 心豊かにたくましく生きる日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
～心豊かに学び ふるさとに夢と誇りをもち たくましく生きる子どもの育成～

(2) 研究組織

組織部、研修部、調査広報部、厚生部の4つの専門部がそれぞれ研究主題を設定し、研修活動を推進している。

3. 研究活動（各専門部の研究活動）

(1) 組織部

① 研究主題 「学校組織体制づくりに関する実態調査と改善方策」

② 研究の視点及び内容

＜視点1＞学校体制づくりの状況と校長の関与について

＜視点2＞各学校における教職員の構成と人事との関わりについて

＜内 容＞年度当初の学校組織づくりと教職員に関わる現状について実態を調査し、校長として、自らの職務と責任を全うし、小樽の教育の推進のために資する改善方策を見いだしていく。

③ 「校長必携」の編集…関係法規の整備

④ 小樽地区教育経営研修会の開催及び運営：平成26年8月6日 ジブラルタ生命ビル

(2) 研修部

① 研究主題 主題1「命を守る安全教育の推進と校長の在り方」

主題2「幼保・小の連携接続における教育課程の工夫改善」

② 研究の視点及び内容

＜視点1＞安全教育を組織的に進めていくための有効な手だてについて（主題1関連）

＜視点2＞保護者や地域、関係機関と連携した取組の推進について（主題1関連）

＜視点3＞4月、新1年生のスタートカリキュラムについて（主題2関連）

＜内容1＞学校生活における安全教育を効果的に進めるための学校全体としての取組や校長の指導性の方策を探るとともに、学校における安全体制をより確かなも

のにするための学校・保護者・地域・関係機関の役割や連携について、現状と課題を明らかにする。

＜内容２＞幼児期から小学校の教育活動への円滑な移行を目指すスタートカリキュラムについて各学校の状況を把握し課題の解消に向け研修を深める。

③ 第５７回北海道小学校長会教育研究 日高大会 第８分科会「学校安全」提言

提言者：小樽市立長橋小学校 石 山 慎 人 校長

④ 平成２６年度小樽市小学校長会研究発表会の開催及び運営

期日：平成２７年１月７日

内容：各部の今年度の研究成果を交流する。

（３）調査広報部

① 研究主題 「信頼される学校づくりに向けた情報発信の取組～学級通信の効果的な発行のあり方～」

② 研究の視点及び内容

＜視点１＞保護者が求める情報の発信・収集について

＜視点２＞学校としての意図的・計画的な情報発信について

＜内容１＞保護者へのリアルタイムな情報の発信のためには、どのような手だてが有効であり、保護者が求める情報とはどのようなものをさぐる。

＜内容２＞学級通信による、意図的・計画的な情報発信における留意点を明らかにするとともに、校長としてどのような指導が求められているかをさぐる。

（４）厚生部

① 研究主題 「健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む資質や態度を育てる学校経営の在り方」

② 研究内容

＜視 点＞「歯・口腔の健康」にかかわる課題の解決のため、健康教育の改善・充実に資する学校経営の在り方と校長の指導性について

＜内容１＞「歯・口腔の健康」に焦点を当て、小学校におけるフッ化物洗口について基本的な考え方、他の市町村における先行事例、歯科医師会等との連携などを取組の対象として、健康（保健）教育の充実を目指す学校経営の在り方と校長の指導性について究明していく。

＜内容２＞ 小樽市教育委員会学校教育課保健係、小樽市歯科医師会等との連携を図り、実態把握や資料を収集するとともに実施に向けた校内組織の整備及び実施マニュアルの検討を行う。

③ 研修視察 ８月２６日 当別町立西当別小学校

４．教育講演会 「防災教育に関わる管理職研修会」

期 日 平成２６年５月１９日

講 師 北海道教育大学札幌校 佐々木 貴子 氏

演 題 「いざはふだんなり」

５．まとめ

平成２６年度、これまでの研究「小樽市学校教育推進計画（二次計画）」を引き継ぐかたちで、新しい学校教育推進計画「２３の指針」が策定され、小樽市小学校長会、小樽市中学校長会が共通目標を設定し小樽市学校教育の推進に向け取り組んでいる。

今後とも、子どもが輝く学校の実現に向けて、校長が力強くリーダーシップを発揮することのできるための研究を志向していきたい。

